

相談ネットワーク通信

2014. 5. 9(金)

子育て・教育なんでも相談ネットワーク 岡山市北区表町1-4-64 上之町ビル3F
TEL・FAX 086-226-0110 Eメール: soudan-net@vivid.ocn.ne.jp

No. 84

巣立つ

ネットワーク会員

孝子

難波先生のお元気で活動されて
いる様子に安堵しながらネット
ワーク通信を拝読させていただ
きました。

1990年の設立当時、息子は
高校生であり私も先生のアド
バイスを一度そちらの事務所
でいただきました。

また、当時は担任の先生もよく
面倒を見てくださり、私立高
校のため家庭訪問にも度々来
られたりするなど、皆様のお
力をお借りして高校は卒業
できました。

その後は、県外県内と四年間の
予備校に入りましたが、とう
とう予備校の卒業で終わら
りました。その間、私もちび
ちび講演

も聞きに行きました。当時の
思い出として、

「親は子どもによって育てら
れる」

「子どもを信じて待つこと」

この話を聞き、主人と二人
で以後じっと待ちつづけるこ
とを決心しました。

そして、息子が25才位から
は仕事もするようになり、ス
ノーボード・サーフィン・ス
キーバダイビングとスポーツ
にも力が入るようになりまし
た。また、時には20日間く
らい休暇を取って海外一人旅
も数回しました。

そして、先日は男の大厄
(42才) 祓いを氏神様で終え、
健康で立派な大人になりました。

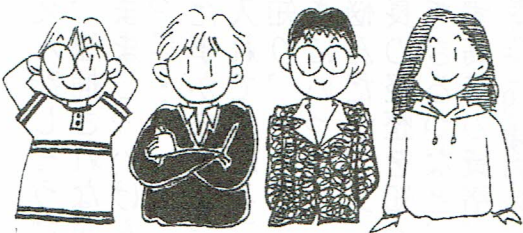
本当に長い間ネットワー
ク通信をいただき、子育てを体
験させていただきました。

気がつけば、私も70才で退
職し、40年間の頑張りも終り、
現在は74才となりました。ま
だ、息子は独身ですが、その
内結婚もしてくれると信じて
待っています。

難波先生、ありがとうございます
祈り申し上げます。

2014年3月

たかこ



帰ってきたヘミングウェイ

生まれ育ち 学び生きるということ

ヘミングウェイに登場した子どもたちは今・・・

今の私を責めないで 未来の私を励まして

生まれ育ち

学びながら育つということ③
のたうち回りながら反転した青年達

その1

高卒認定フジゼミ講師

志賀兼允

春の予感を覚えるこの時期、私は疾風怒濤の狭間に生きる青年の持つ可能性に驚愕にも似た新鮮な感動を覚えます。今年もまた、そんな風景に身を置きながらお伝えします。

「中学校二年生から金髪ピアスなど規則違反の服装で登校。教室に入れてもらえず、別室指導。『名前を書いただけで合格できる高校を紹介しちゃうけん』と言われて受験した高校に不合格。卒業

後、暴走族に入り、車の整備工場に一年間勤めた後、土建会社に三年勤務。仕事をしていた時、毎朝早く起きて、帰ってきたら友達とタムロバイク↓仕事というサイクルで、何度も警察に補導され、鑑別所に二度も入る。同じ事の繰り返しの日々に次第に腹の底から感動できず、うわべだけ強がる生活に次第につまらなさを感じ始めた。

りもしたが、俺のような学力の底辺にいる者には関係のない世界だと思っただ。ただ、建設現場では体積の求め方も分からなかった。だし、保険もないこの仕事を一生続けるのめいめいやだなと思っただ。せめて高校ぐらいの勉強はしとかなくっちゃ』と定時制も考えていた。

何ともいえん悲しそうな顔を見て、逮捕されながら『このままじゃいけない』と思った・・・

ふとした事から高卒認定を受け入れてくれるフジゼミを知り、とりあえず話を聞きにいった。しばらくは悩んだが、フジゼミの塾長の経歴を知って自分もできるかなと、とりあえず高卒の資格だけでもと考えて19歳の時、決断してフジゼミに入った。

当時(二年前)自分の学力はひどいものだった。英語は全くの所 This is is から始めるしかなかったし、選択肢を見ても、すべて正解に思えた。

勉強するとき本を読んだ経験は、鑑別にいた時のハリポッター一冊だけで、漫画やチャンプロードなどの雑誌以外に読んだことはなかった。国語の時間に古文・漢文の存在さえ知らず、レ点を見

て『印刷ミスじゃないの?』
 と思っただけで、いたくらい無知
 であつた」というわけ
 で、初めて受けた夏期講習で
 は全問不正解だつた。
 (以下略)

あれから二年。この春、
 彼は早稲田・明治・法政・
 成蹊大学の政治経済学部
 経済学科、法学国際経済
 経済学科、経済学部経済
 経済学科、経済学部英文科
 すべてに合格し、早稲田に
 進学することを決めた。

人はこうした事例を奇
 跡とか特殊な事例とか言
 い放つて、まるで他人事
 のように受け止める。し
 かし学校生活に抵抗し、
 半ば追放されるように隔
 離されたり、公的な規則
 に疲弊し、閉じこもつた
 りしていた十名前後の青
 年達が毎年最後の砦のよ
 うにやってくるフジゼミ。
 そこに通うほとんど全員
 が前に向かつて自分の道
 を描き、生きる道を切り

開いてくる姿を見せられ
 る時、もはや、こうした
 事実は奇跡でもなければ、
 特殊な事例でもないと思
 えるのです。

今年だけでも「小学校
 二年生から保健室登校、
 中学校では中一の一学期
 だけ登校したもの、以
 来、不登校になり、高校
 受験さえしていなかった
 女子生徒が立命館の産業
 社会」に「高校では所属
 する学年で成績最下位の
 生徒が『学校で、まるで
 無視されるので、自分で
 学校を無視して、ゼミの
 みで勉強することにした』
 とひらきなおって同志社
 の政策学部の経済学科に
 進学」。海と魚の研究
 がしたいという夢を持っ
 て臨んだ青年は、高卒認
 定試験を合格した年に、
 第一希望の福島県立大学
 の水産学部に進学を決め、
 明るい姿で旅立った。

「美容師になるために高
 卒の資格を取って生き生
 きと働きだした子」「看

護師を目指すために高卒
 認定試験を受けるもの」
 「朝二時まで飲食店で働
 きながら昼間に勉強し、
 高卒認定を目指すもの」
 等々。もはや奇跡でもな
 ければ特殊事例でもない。
 奇跡や特殊な事例がかく
 も繰り返されてくると、
 もはや一般的な、普遍的な
 真実を含んだ人間存在の
 ありようさえ伝えてくれ
 ます。

早稲田に進学するK君
 はいう。

「一人暮らしで、何でも
 やらなければならぬの
 で多少負担だつた。知ら
 ない土地で、知り合いも
 発散する方法もなく息苦
 しい時もあった。勉強は
 面倒くさいと思つたけど、
 やめようとは思わなかつ
 た。学校以外を知らない
 ので、比較することはで
 きないけど、ここフジゼ
 ミでは、困ったときに相
 談したら、徹底的に寄り
 添ってくれた。けど、後

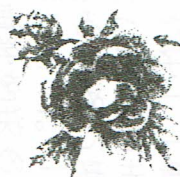
は『放任主義』に徹して
 くれたのが一番良かった。
 自分の姿をそのまま認め
 てくれたおかげで、人を
 信ずる力がわいた」

放任とは「任せ放つ」
 ことであつて「放ち置く」
 放置ではない。のた打ち
 回りながら、波風体験を
 乗り越え反転し「自分ら
 しさ」を取り戻し、道を
 切り拓いてくる多くの青
 年達には共通する哲理が
 あります。

(しが かねみつ)



ぼたんと私



前田 俊輔

私の生まれた加茂川町は岡山のチベットと呼ばれたところで、牡丹などというしゃれた花はどこにもなかった。

牡丹と出会ったのは中学2年生の国語の時間である。熱血教師河原義春先生が有名な俳句を読み上げて(与謝蕪村の「ぼたん散つてうち重なりぬ 二三片」)、感に堪えないというように「ああ うまいなあ。」と叫ぶようにいわれた。義春先生はまず自分が感動し、それを生徒に強要することがよくあった。このときも、本物の牡丹を見たことにはなかったが、先生の熱弁を聞くうちに、満開の牡丹が、春のけだるい空気の中でどさつと音を立てて散り重なっていく姿を思い描くことが

できた。それが私と牡丹との最初の出会いである。

本物の牡丹と出会うのは、それから二〇年も後である。私は、縁あって出雲の女性と結婚した。そのころ大根島のおばさんたちが花木の苗を学校や役場を回って売って歩いていった。何となく愛着を覚え牡丹の苗を一株買った。管理が悪く残念ながらこの木は花を咲かせることができなかった。次の年、今度こそはと思いい、少しい苗を買い、栽培法も勉強し、しっかりと管理した。そうすると、真っ白な牡丹が二輪咲いた。そのうちの輪を切って妻の職場に持たせた。職場では大変好評を博し、妻も大いに喜んでくれた。「父ちゃん、職場でも人気が上がったよ。」

と褒めてくれたので、私はうれしくなってしまった。それから後、春の連休に出雲に行くときは必ず大根島に寄り牡丹園を見て歩いた。そのたびに苗を購入した。我が家の畑は、牡丹の木が増え続けた。しかし、牡丹は夏の管理が大変で、水が切れると枯れてしまう。そこで、私は、牡丹を学校で育てることを思いついた。園芸部の子どもたちと校庭の花壇に牡丹を植えることにした。その頃植えた牡丹が数年前までは残っていたが、いかな花をつけていたが、今はどうなっているだろう。牡丹の魅力はなんといいつても「空間を支配する力」。つまり、牡丹は、一本壺に差すだけで一つの空間を自分色に染め上げてしまう。だから、花の王様なのだ。

行ってみませんか
牡丹園へ

岡山県の牡丹園を紹介し
ます。ぜひ行ってみてください。
さい。

① 黒井山牡丹園

(瀬戸内市邑久町)

品種・株数ともに多く、
手入れが行き届いている。
毎年見事な花を咲かせてい
る。そして、お気に入りの
苗を安く買うことができる。

② 吉備津神社牡丹園

(岡山市北区吉備津)

岡山では歴史ある牡丹園
で、いい花が咲いている。

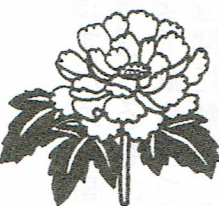
③ RSKバラ園の牡丹園

(岡山市北区撫川)

新品種が多く、手入れが
行き届いている。ここは寒
牡丹もきれいだ。寒牡丹は
年末から新春が見頃だ。

このほかにも日中友好の
記念に送られた牡丹を元に
開園した中国牡丹園が県南・
県北に存在する。

(まえた としはる)



無謀な世界一人旅 ①

～夢を追い続けて～

相談ネットワーク

正保 宏文

〈プロフィール〉

高校一年生の時、教室の片隅においてあった「高一コース」という雑誌の記事を読んで、小生もゆくゆくは世界各地に行ってみたくて思うようになった。しかし、小生は、高校を休学して外遊する勇気もお金も言語力もなく、その思いは頭の隅に入れたままで高校三年間は無事に過ぎていった。

そして、働くようになったら世界を股にかけて商社マンとして活躍してやろうなんてことを考えていたが、それもかなわぬまま時は過ぎていった。

五〇才の時、西安行きツアーに一人参加して「夢」という文字の掛け軸を買った。そして、自分の「夢」をどう実現していくかということを考えた。そのとき思いついたのが、「国連に加盟している国が一九二カ国あるので、その半分の一〇〇カ国を回る」そのことを、人生後半の「夢」とすることにした。たった一度

の人生なのだから、やりたいうことはやり抜く、その決意を固めた。ただ、語学力はないし、お金も、豊富な知識もない。ないないづくしで、旅に出ようというのだ。退職したら、足を踏み出すことに決めた。人生において新たな一歩を踏み出すことはなかなか難しい。でも、それにチャレンジするのだ。小生の生活年齢は六〇才だが、精神年齢は三五歳だから挑戦できるのだ。妻をはじめ、知人も旅に誘ってみたが、小生以外はみな良識派で、無謀な旅につきあうほどのお人好しではなかった。その結果、好むと好まざるに関わらず悠々自適の一人旅となった。

四月は東北の震災ボランティア(岩手県宮古市)に行ったり、熊野古道へ行ったりと充実した生活を送っていたので、実際に動き出したのは五月になってからであった。ある旅行会社へ行って、世界一周航空券を注文することにした。この券は自分の生きたい都市間をつないで世界を一周するというものである。いくつかの条件があるが太平洋と大西洋を横断する、その際時計の方向に回るのか反対に回るのか決めておかなければならない。小生は、初めての世界一人旅なので、とりあえず、今回は先進国を中心に回ることにした。岡山
↓羽田↓ニューヨーク↓ロンドン↓マドリード↓パリ
↓ローマ(含むバチカン市国)↓ミュンヘン↓帰国の切符を買うことにした。旅行社の人は小生が貧相な身なりの人間だったので、当然エコノミーの切符を手配してくれようとした。しかし、小生は、自分へのご褒美として人生初めてのビジネスクラスへ乗ることを告げた。エコノミーなら四〇数万円、ビジネスなら七〇数万円ということだった。だが、ビジネスを選んだことが、小生にとって地獄の一步となった。 つづく

(しょうほ ひろふみ)

年金問題シリーズその3 (最終)

高齢期を安心して豊かなものに

全日本年金者組合岡山県本部 書記長 田中 博



全日本年金者組合が昨年秋からとりくんだ「年金2.5%引下」に対する行政不服審査請求者は全国で12万6千人(岡山県で1400人余)を超えました。

高齢者の生活破壊に対する怒りが行動になり、多くの賛同者を得ました。厚労大臣は「本件審査請求を却下する」との決定書を請求者に送ってききましたが、私たちはこれを不服として再審査の請求を行います。

年金削減攻撃はこれから本番です。消費税の増税分は社会保障に使うと喧伝して、4月から消費税が8%になりました。しかし、消費税増税の論拠はスタスタ

です。政府は4月から公的年金の「改定案」の策定に着手しました。その第一は、保険料納付期間の延長です。現在は20歳から40年ですが、5年延長して65歳までとする案で、さらに67歳・68歳までも引き上げる案も浮上しています。第二は、支給開始年齢の引き上げです。65歳で満額支給を67歳・68歳まで引き上げる改悪案は5月にも示されそうです。第三は、少子化と高齢者増にに応じてマクロ経済スライドを導入し、自動的に年金水準を削減します。これは現役世代の減少などを理由に年金財政が毎年0.9%悪化すると見込み、デフレ下で

も実施するとしています。保険料は17年まで連続引き上げ、給付水準は現役の手取り収入の約62%(2009年)から50%以下に減らす計画です。

こうした年金制度改悪を跳ね返し、高齢期を安心して豊かに暮らすために3000万人を超える年金受給者が今こそ声を出して、生活破壊の怒りを行動に移す時です。行政不服審査請求運動の成功はその緒にすぎません。年金削減を中止して、低年金を底上げする、最低保障年金制度を創設するなど年金制度拡充の運動に参加しましょう。

たなか ひろし

四月から相談ネットワークに新しい相談員(岩佐仁志さん)が増えました。そこで、相談担当日を左の表のように変更しました。新しい風をもらって、前進したいと思つていきます。よろしくお願ひします。



月	石井	前田	秋山	
火	中野	田中	衣笠	加戸
水	高田	石井	岩佐	石川
木	難波	加戸	正保	秋山
金	難波	田中	石井	岩佐 石川

青春断想 ⑪

突然ですが、辛いことの多かった青春の話を一回休憩させてもらいます。

ナンバくん、なにをブツブツ言よんなら。新しい年度が来たというのに…。

ハイ、そうですね。いや、今年の年賀状に書いたことを読んでおったんですらあ。

何か特別なことが書いてあったんですかな。

別にそんなものはありませんで…。年度の区切りじゃからなあ。なんとなく。

それでもなんかあるんでしょうが。言うてみんさい。

ハイ、…そうですね…。強いて言えば…。

ホオツ、強いて言えば？

そうですね。もうあんまり年はとりたくないですなあ。

あんた、なんぼになったんなら？

まあ、それはよろしいがな。

そんなことを言うても、みんな年をとるんじゃないかなあ。

そうですね。そうじゃけど、年はとりたくないですなあ。

難波一夫

おまえさんは、さつきから同じことばあ繰り返しておるだけじゃが。

ハイ、それが年をとった証拠ですがな。それが一番サビシイことですけえな。カラダは動かんようになるし、同じことを何回も言うて、物忘れは確かになるし、グチと小便是長くなるし…、ええことはメツタにありませんで。ハイ。

ちいたあええこともあるじゃろう？

ハイ、…そうですね、強いて言えば…。

また、強いて言えばか。

ハイ、強いて言えば、人

からした借金を忘れるぐらいですか。

それはええな。わっしも忘れたいもんじゃ。

チホーとかがボチボチやつてきよんじやろうと思おとります。ハイ。

今朝何を食べたか、覚えとるかな、ナンバくん。

食い意地がはつとりますけえ、それぐれいなことあ、よく覚えとりますけえ。ハイ。

ボケンうちにやっておきたいことがあるじゃろ？

いっぱいありますら。

じゃつたら、仰山言わずに、その中の一つだけ言うてみなせえ。

ハイ、そうですね。…まあ、「あいうえお」か「かきくけこ」かなあ。

なんです。そりゃあ。

ハイ。自分の生きるスローガンですがな。よう、聞いてくださいよ。「あかるくいきいき、うつくしく、えんりよししないで、おおらかに」：：かな。その頭文字をとってみなせえ。

フオツ！「あいうえお」か、なるほど、そんなら「かきくけこ」いうたら？

あんた、一つだけじゃと言うたでしようが。：

まあそんなかてえことばあ言わずに。：

ほんなら、言いますらあ、ええですか。 「か」はなあ、感動ですらあ。深こう感じて心が揺さぶられるようなことに仰山出くわしたいもんですなあ。映画や芝居や小説がいいですなあ。「き」はなあ、興味ですがな。いろいろなこと興味や関心や好奇心をもつてい

たいもんですなあ。「く」は、工夫ですか。ものを書くのがよろしいなあ。頭はずつと使わんといけませんなあ。「け」は、なんと言っても健康ですけえ。ストレスを貯めんようにして、どこまでも自転車を愛用しますけえ。終わりの「こ」は、恋ですらあ。人を好きになつたり、好きだと言われたり、恋心もちたいですなあ。こうなつたら、もう一つ言わせてもらいますけえ。

ハイハイ、もうなんでも言います。

大きな声で言いますぞ。今年度は、特に今年度は、いい人と会えるといいね。いいものに触れられるといいね。いいことができたらいいね。いい毎日だといいいね。いい人を好きでいたいね。いい人たちと生きられたいね。いい学校にできたらいいね。いい街にしたいね。いい国にしたいね。

そして、いい人生だったと
いいたいね。ほんとうにそ
う思うよ。今年度は、こん
な風に生きたいもんですな
あ。

ナンバくん、あんたは相当
の欲張りじゃなあ。
ハイ、欲のツツパリです
けえ。

さ

つき(五月)の空 若葉が陽に映えてまぶしく 悠々と泳ぐ鯉のぼり 新しい団地の子どもの遊び声がとつてもにぎやか それだけで元気がもらえる さて新しい学年が始まった これからの一年間 子どもたちの喜怒哀楽を 生き生きと伝えて いたらいいな

く

らいこと 心の痛くなること 子どものいじめや不登校 や他の問題行動が... どうして? いつまでも こんなに? どうしたらいいの か あらためて子どもたちの心の奥底の 声なき声をていねいに聴くことからはじめよう

ら

ンドセルが歩いているような新一年生 学校の居心地はどうかな 友だちでできたかな トイレにちやんとつけているかな 給食は大丈夫かな 帰ってきたらしっかり抱きしめて 「うんうん」と頷きながら聞いてあげよう

そ

んな思いをずっともちながら 忙しさにかまけて つい 大声を出したり 中途半端な受け答えになつてしまつたり ひどいときには...

う

れしいことが 本当にうれしいことが お便りで届きました 孝子さんです ありがとうございます これからもうんと幸せになってください 応援しています

N